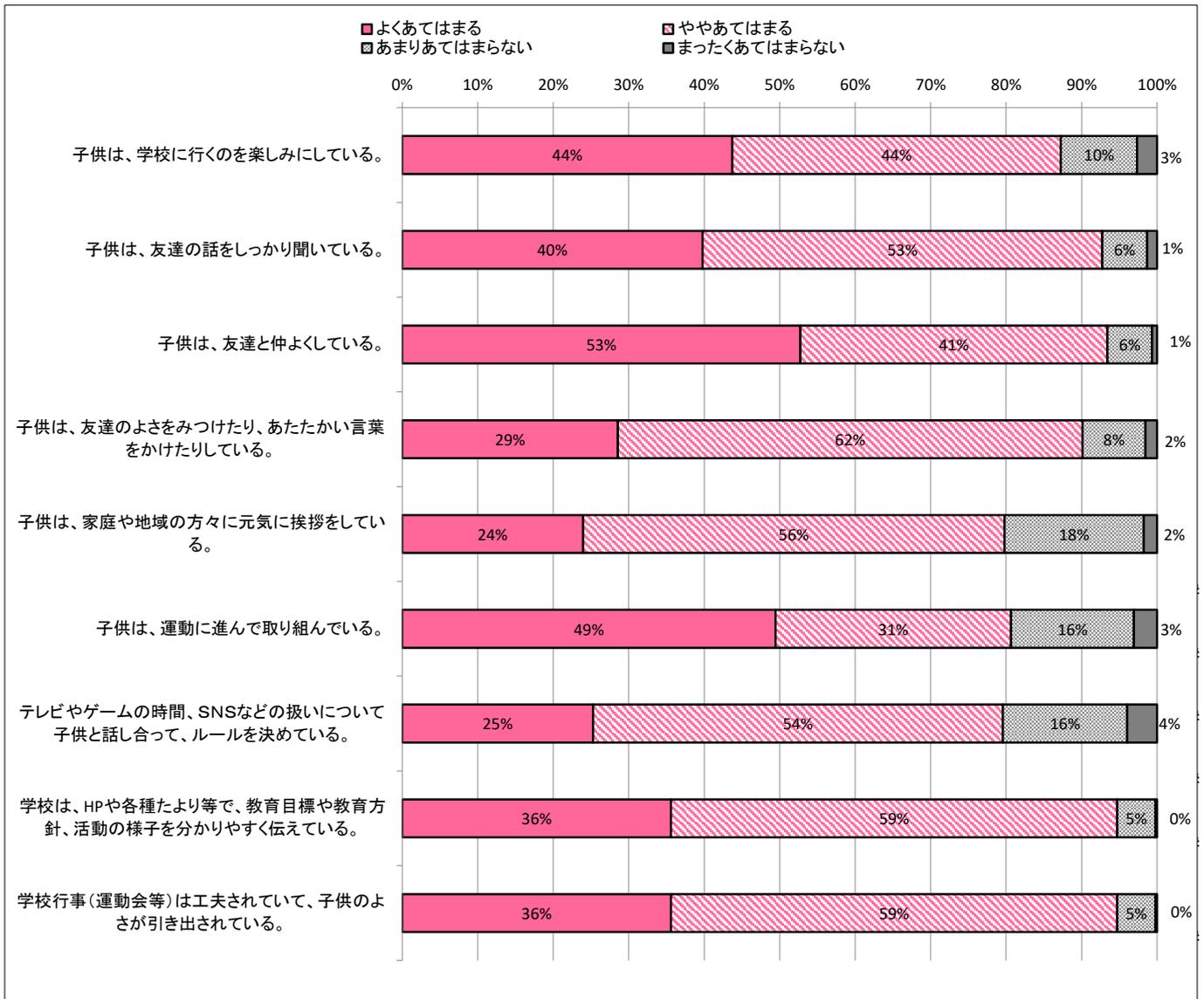


保護者アンケート結果(後期)



<保護者アンケートから>

- ・9項目中8項目で80%以上を達成しています。
- ・「友達と仲よくしている」の項目が94%と、前期同様高い値でした。児童会活動や学年・学級活動等の工夫、学校行事を通して、互いを認め合い、励まし合いながら学校生活をよりよくしようとする活動が展開された成果が伺えます。
- ・テレビやゲームの時間、SNSなどの扱いについての項目は、80%をわずかに下回ったものの、前期に比べ約5%上昇しています。今後も、SNS等の正しい使い方や家庭のルール等を振り返る機会を設定するなど、保護者の皆様と連携しながら取り組んでいきます。

<児童と保護者アンケート比較から見てきたこと>

- ・児童と保護者のいずれも「テレビやゲーム、SNSについて」の項目は、80%を下回りました。メディア利用時間や時間の使い方について、道徳科や学級活動の時間、保健委員会、学校保健委員会の取組を通して、メディアとの関わり方や規則正しい生活習慣等を考える機会の充実に努めていきます。ご家庭におかれましても、この機会に新たなルールを設けてみたり、既存のルールを見直したりするきっかけにいただければ幸いです。発達段階に応じて、ご家庭でもお子さんの様子を見ていただき、メディア時間について適切な時間を話し合っ決めてするなど、ご協力をお願いいたします。
- ・「自分の考えをもち、友達の考えの伝えたいことは何かを考えながら聞いている」の項目は、児童、保護者ともに93%前後となり、どちらも前期より値が上昇しました。学校では、日頃から「あなたは どう思う？」という問いかけを大切にしています。友達の言葉の背景にある思いを想像しながら聞くことは、相手を尊重することにつながります。こうした聞き合う関係づくりは、学校だけでなく、ご家庭での会話の積み重ねがあっこそ育まれるものです。今後も、家庭と学校で連携しながら取り組んでいきたいと思ひます。